

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年四月十二日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一八六三號

一、支那事變第一回功績調査期日ヲ昭和十三年四月三十日ト定ム、各所轄長ハ同日ノ現在員ニ就キ昭和十二年七月七日以降同十三年四月三十日ニ至ル期間ノ功績ヲ調査シ昭和十三年六月末日迄ニ到達スル様海軍功績調査規程第八條ノ手續ヲ爲スベシ
二、離現役、歸休、召集解除軍人、退職軍屬、解傭セラレタル徵傭船舶ノ船員等海軍ノ勤務ヲ離レタルモノハ其ノ都度海軍功績調査規程第八條ノ手續ヲ爲スベシ

昭和十三年四月十一日

海 軍 大 臣

○ 通 牒

人秘第五號

昭和十三年四月十一日

海軍省 人事局長

各 應 長 殿

功績具申ニ關スル件通牒

今般官房第一八六三號ヲ以テ支那事變第一回功績調査ヲ令セラレ候處之ガ實施ノ細項ニ關シテハ海軍功績調査規程竝ニ人秘第五一號(昭和十二年九月九日人事局長通牒)ニ據ルノ外左記ニ依ル義ト御承知相成度
追テ昭和十三年五月一日以後ノ功績ニ對シテハ更メテ調査期日ヲ示達セラルベキニ付人秘第五一號ニ依リ引續キ關係書類ヲ整備シ置カレ度

記

一、功績明細書竝ニ履歷書ノ調製

(一) 功績明細書第一行ノ官位勳功學位符氏名ハ功績調査期日現在ノモノヲ記ス
但シ軍人ノ免官免役者及軍屬ノ退職者ニ在リテハ

- (一) 官等ニ「元」ノ字ヲ冠ス
- (二) 死歿者功績明細書中ニハ位勳功ノ誤記又ハ記入洩ノモノアリ、本件ハ行賞上重大ナル錯誤ノ因トナルニ付特ニ留意アリ度
- (三) 死歿者ノ功績明細書ニハ傷病名ヲ記入シ、戰死戰傷死者ニハ死傷當時ノ見認證書ヲ添付スルコト
- (四) 死歿者ノ功績明細書ニ添付ノ見認證書ニ於テ艦船部隊ノ功績ヲ個人ノ功績ノ如ク記シ又ハ記事ノ内容戰聞詳報其ノ他調査ニ依ルモノト相違シ功績調査困難ナルモノアリ、本人ノ功績ヲ明瞭ナラシメ所要ノ略圖ヲ添付スルコト
- (五) 死歿者功績具申履歷書中氏名ガ固有履歷書ノ字劃ト相違セルモノ、死亡年月日ノ誤記等アリ本件ハ上奏手續ニ關スルモノニ付特ニ留意アリ度
- (六) 現役免除、兵役免除軍人、免官解職軍屬等ノ履歷書ニハ其ノ理由(傷病名及不具廢疾ノ程度又ハ傷病程度)ヲ附記スルコト
- (七) 部外者功績具申中單ニ在郷軍人會員又ハ某會社員トアルノミニテハ社會的地位明瞭ナラザルニ付軍人官階又ハ會社ノ職名竝ニ俸給、學歷等ヲ記載シ社會的地位身分等ヲ願慮シ概ネ將官、佐官、尉

官、准士官、下士官、兵ニ準ジ取扱フベキモノヲ區分シ履歷書ニ其ノ事由ト共ニ記載スルコト
 尙現有勳章ノ有無ヲ確認シ無勳者ハ其ノ旨記載ノコト
 功績事項ノ記述簡ニ失シ功績調査上判定ノ資トナラザルモノアリ、功績ノ内容ヲ具體的ニ詳記スルコト

二、功績具申名簿
 功績調査書類ハ各人毎ニ功績明細書、添付書類、履歷書ノ順ニ綴リ功績具申名簿(功績順序欄ハ功績同等ニシテ眞ニ已ムヲ得ザルモノニ限り數名ヲ同番號ト爲スコトヲ得、但シ同番號者員數ヲ缺番號トシテ次位ノ番號ヲ附ス)添付ノ上進達ノコト
 此ノ場合各書類ノ官(職)位、勳、功及氏名ノ字劃等ニ相違ナキ様注意スルコト

三、無功績者ノ通知
 各所轄長ハ功績調査期日現在員中無功績者アル場合ハ別紙様式ニ依リ其ノ官氏名ヲ來昭和十三年六月末日迄ニ海軍省人事局長(職務士官以下ノ軍人ニ在リテハ在籍鎮守府ノ人事部長)ニ通知ノコト
 第一回功績調査期間内ニ於テ無功績者他ニ轉出シタ

<p>ル場合ハ舊所轄長ハ其ノ旨速ニ新所轄長ニ通知スル コト</p>	
<p>(別紙) 支那事變無功績者名簿(第一回功績調査)</p>	
<p>所轄長印</p>	<p>勤務應名</p>
<p>入籍番號 (下士官兵ノミ)</p>	<p>官(職)</p>
<p>氏名</p>	<p>氏名</p>
<p>(備考) (一) 勤務應名ハ第一回功績調査期間内勤務ノ順序ニ記載ノコト (二) 本名簿ハ功績具申名簿ノ分類ト同一種別毎ニ別紙トスルコト</p>	
<p>人祕第五一號ノ四 昭和十三年四月十二日</p>	
<p>海軍省人事局長</p>	
<p>各廳長殿</p>	
<p>支那事變第三回功績概見表ニ關スル件通牒</p>	
<p>首題ノ件人祕第五一號ノ三(昭和十三年一月二十五日海軍公報部内限)ニ準ジ自昭和十三年二月一日至同年四月末日期間ニ於ケル功績概見表ヲ本年五月末日迄ニ到達スル様進達相成度依命</p>	

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 第二千八百八十五號

昭和十三年四月十三日(水)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一六〇三號

昭和十三年度海軍省所管歳入歳出科目別冊ノ通定ム
但シ別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ所要ノ向ヘ配付セ
シム

昭和十三年四月一日

海軍大臣

○通 牒

官房第一八一三號ノ三

昭和十三年四月十三日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ

關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコト、御了知

相成度

記

一、報國第一四五號(第一臺灣學校號)、報國第二〇二號(第一高雄號)、報國第二〇三號(第二高雄號)、報國第二〇四號(全臺灣號)ニ關シテハ報國第二〇五號(第二青年團號)ニ準ズルコト、御了知相成度
二、寫 真(活動寫真ヲ含ム)ハ撮影ヲ禁ズ
(三月十四日官房第一四六號ノ八(部内限)公報参照)

艦本機密兵電第三七九號

昭和十三年四月十三日

海軍艦政本部長

各海軍軍需部長殿
舞鶴要港部軍需部長

兵器保管轉換ノ件通牒 (機關長主管)
(通信長主管)

在庫竝ニ供用(貸與ヲ含ム)中ノ左記兵器ヲ機關長主管ヨリ通信長主管ニ保管轉換スベシ
追テ兵器簿ハ改正セラル、豫定

海軍公報(部内限) 第二千八百八十五號 昭和十三年四月十三日

三九五

記	品名	移動輕便發電装置 <small>無線電信用(透波器付) 七五V单相一九〇 サイクル K、V、A 附屬品補用(豫備)品共</small>	記事	テイエム式短移 動無線電信機用 全部
<p>○辭令</p> <p>海軍少佐 藤尾 勝夫</p> <p>第一課兼第二課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)</p>				
<p>○雜款</p> <p>○將旗復歸</p> <p>佐世保警備戰隊司令官ハ四月九日將旗ヲ羽黒ヨリ一時 文月ニ移揚シ即日名取ニ復歸セリ</p>				
<p>○郵便物發送先</p> <p>第四驅逐隊宛郵便物ハ左記ニ依リ御送付ヲ得度 追而左記宛書類ニシテ秋風ニ關係アルモノハ直接寫 一通同艦宛送付相成度</p> <p>司令機關長軍醫長主計長宛 自今</p> <p>東京石川島造船所</p>				

羽風宛
從前通
秋風宛
從前通
東京石川島造船所
浦賀船渠株式會社
(註) 秋風ヨリ横須賀鎮守府文書交換所へ毎日二回
公用使ヲ派遣ス

○艦船所在

△印ハハホレフ
指定ヲ要セズ

○四月十三日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、五十鈴△、長門△、春日、澤風△

呂雷△

呂六六△

掃二△

富士△、尻矢△

(飛龍)△、(劍埼)△、(高崎)△

【長浦】

太刀風、夕風、松風、春風、旗風、帆風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、呂五八、伊二四、伊二三

呂掃六、掃五

【石川島】

羽風△

【芝浦】

嚴島

【横濱】

高雄

掃一△、掃三△、掃四△

【浦賀】

秋風△

(霞)△

【大湊】

神風、沼風、波風、野風

【函館】

若竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△

淀、加古、最上、天龍、扶桑、龍驤△、夕顔、吳竹、呂菊、葵、萩、呂浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、呂三四、呂三三、伊五一△

伊七一△、伊五三、伊五四、伊五六、伊五七、伊五八

攝津、室戸

(千歲)△、(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

【大阪】

呂六四△

(伊八)△、(伊七五)△

【神戸】

常磐△

石廊△

【相生】

朝風△

【因ノ島】

平戸、淺間

【江田内】

宮島△、大井

【豊後水道】

矢風

【佐伯】

伊七二、伊七三

【舞鶴】

吾妻△、八重山

伊初雪△、白雪△、吹雪△、皐月

海軍公報(部内限) 第二千八百八十五號

昭和十三年四月十三日

【佐世保】

赤城、榛名、那智、北上、名取、羽黒、八雲、磐手、妙高

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、滿潮、朝潮、荒潮、峯風、彌生、如月、交月、長月、水無月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、伊六五、伊六六、伊六七、伊二、敷島、佐多、野島、洲埼、伊七四

利根、筑摩

呂六三、呂六八

出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、白鷹、足柄、沖島、球磨、多摩、長良、神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、島海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、蒼龍

栗、梅、蓮、櫻、電、曉、狹霧、漣、葛、薄、藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月

航海中

夏雲、山雲、朝雲 (十二日室蘭發—橫須賀)

伊五五 (十二日吳發—佐伯灣)

早苗 (十三日橫須賀發—大湊)

隱戶 (十二日橫須賀發—羅府)

夕月、望月、三日月、麥、菱、蓬、島風、灘風、汐風、疾風、追風、夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、陸月、卯月、朧、曙、潮、天鏡、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲

伊二一、伊二二、伊三一、伊三三、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶴、鴨、鴻、隼、雁、鷺

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、早靱、襟裳、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州

【作業地】

【長崎】

【鎮海】

【阿武隈】

【蒼龍】

【早苗】

【隱戶】

【伊五五】

【伊六〇】

【伊六一】

【伊六二】

【伊六三】

【伊六四】

【伊六五】

【伊六七】

海軍公報 (部内限) 第二千八百八十六號

海軍大臣官房

昭和十三年四月十四日(木)

○通牒

軍需第一〇六號

昭和十三年四月十三日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

航空鑛油使用ニ關スル件通牒

カストル油使用ノ航空發動機ニハ長期格納又ハ還納ノ場合氣筒防蝕用トシテ當分ノ間告知豫算内ニテ航空鑛油ヲ使用シ得ルコトニ定メラレ候

○辭令

海軍少佐 中村 健夫

第一課勤務ヲ命ス(謂海軍省教育局)

海軍主計中佐 大橋 丈夫

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(謂海軍航空本部)

○雜款

○司令潜水艦變更

第十九潜水隊司令ハ四月十日司令潜水艦ヲ伊號第五十六潜水艦ヨリ伊號第五十七潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦扶桑宛

四月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 十八日迄ニ 同 大分縣佐伯

其ノ後ハ

敷設艇那沙美宛

自今

吳

海軍公報(部内限) 第二千八百八十六號

昭和十三年四月十四日

三九九

○艦船所在

▲印ハハホセ
指定ヲ要セズ

○四月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴▲、長門▲、春日、澤風▲

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

夕風、松風、春風、旗風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂五八、伊二四、伊二三

呂六六、掃五

【石川島】

羽風▲

【芝浦】

嚴島

【横濱】

高雄

【浦賀】

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【下田】

帆風

【大湊】

神風、沼風、波風、野風、大泊

【函館】

若竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、加古、最上、天龍、扶桑、龍驤▲、夕顔、吳竹、口菊、葵、萩、口浦波、磯波、敷波、綾波、呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、呂二八、伊五一▲、伊七一▲、伊五三、伊五四

【大阪】

(千歲)▲、(千代田)▲、古鷹▲

【神戸】

(峯雲)▲、呂六四▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲、石廊▲

【因ノ島】

朝風▲

【江田内】

平戸、淺間

【宮島】

大井

【豊後水道】

雄、鳩

【佐伯】

矢風、伊七二、伊七三

【舞鶴】

吾妻▲、八重山、初雪▲、白雪▲、吹雪▲、皐月、伊五二

【佐世保】

(敷)▲、赤城▲、榛名、那智、北上、名取、羽黒

海軍公報(部内限) 第二千八百八十六號

昭和十三年四月十四日

四〇二

妙高▲

梨▲竹▲榊▲桃▲柳▲檜▲董▲
夕風、
朝風、
若葉、
初霜、
子日、
初春、
大湖、
滿潮、
朝潮、
荒潮、
峯風、
彌生、
如月、
文月、
長月、
水無月

呂三〇▲、
呂三一▲、
呂三二▲、
呂六〇▲、
呂六一▲、
呂六二▲、
呂六六▲、
呂六七▲、
呂六五、
伊六五、
伊六六、
伊六七、
伊二、
敷島▲、
佐多、
野島、
洲埼、
伊七四▲

【長崎】
【鎮海】

利根▲、
筑摩▲、
柿、
楡

【作業地】

出雲、
龍田、
安宅、
嵯峨、
鳥羽、
勢多、
壁田、
比良、
保津、
熱海、
二見、
木曾、
白鷹、
足柄、
沖島、
球磨、
多摩、
長良、
神威、
能登呂、
勝力、
加賀、
駒橋、
陸奥、
伊勢、
日向、
霧島、
金剛、
那珂、
鬼怒、
由良、
川内、
迅鯨、
島海、
摩耶、
熊野、
三隈、
鈴谷、
神通、
阿武隈、
蒼龍、
八雲、
磐手、
栗、
梅、
蓮、
櫻、
電、
曉、
狹霧、
漣、
葛、
薄、
藤、
芙蓉、
朝顔、
刈萱、
菊月、
夕月、
望月、
三月月、
麥、
菱、
蓬、
島風、
灘風、
沙風、
疾風、
追風、
夕立、

【航海中】

夏雲、
山雲、
朝雲、
（十二日室蘭發）
橫須賀（）
伊五五、
（十二日吳發）
佐伯灣（）
隱戶、
（十二日橫須賀發）
羅府（）
早苗、
（十三日橫須賀發）
大湊（）
早草、
（十三日鎮海發）
西歸浦（）
呂三四、
呂三三、
（十三日吳發）
豊後水道（）
伊五七、
伊五六、
伊五八、
（十三日長浦發）
別府（）
太刀風、
（十四日長浦發）
石川島（）
沖風、
（十四日長浦發）
木更津（）

五月雨、
村雨、
春雨、
白露、
時雨、
有明、
夕暮、
江風、
山風、
海風、
涼風、
陸月、
卯月、
朧、
曙、
湖、
天霧、
朝霧、
夕霧、
白雲、
薄雲、
叢雲、
東雲、
伊二一、
伊二二、
伊三一、
伊三、
伊六、
伊四、
伊五、
伊七、
伊六三、
伊五九、
伊六〇、
伊六一、
伊六二、
伊六四、
伊七〇、
伊六八、
伊六九、
千鳥、
初雁、
友鶴、
真鶴、
鶺鴒、
鶉、
鴻、
隼、
雁、
鷺、
掃一六、
掃一三、
掃一四、
掃一五、
掃一七、
掃一八、
朝日、
早鞠、
襟裳、
知床、
鳴戸、
鶴見、
間宮、
膠州、
室戸

（辭令公報添）

海軍公報 (部内限) 第二千八百八十七號

海軍大臣官房

昭和十三年四月十五日(金)

○令 達

官房第一九一六號ノ二

昭和十三年四月十五日

海軍大臣

關係各所屬長官殿

皇族妃殿下御差遣ニ關スル件中變更ノ件訓令

本年官房第一九一六號別紙中第五御差遣宮「伏見宮博義王妃朝子殿下」ヲ「閑院宮春仁王妃直子殿下」ニ御變更被爲在候趣宮内大臣ヨリ通牒有之候條此ノ旨心得

ベシ
(四月十一日號外本欄参照)

○辭 令

海軍特務大尉 岩谷 六助

臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額貳千四百圓ヲ給ス

(各通)

從七位 指宿 秀彦
上原 蕃

從七位 松永 半五郎

金指 謙一郎

田島 勇

吉岡 恒夫

橋石 鐵雄

岩屋 三男

露無 正志

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス
中村 邦雄

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(以上切詰海軍省)

○雜 款

○司令驅逐艦變更

海軍公報(部内限) 第二千八百八十七號

昭和十三年四月十五日

四〇三

1902

海軍公報(部内限) 第二千八百八十七號

昭和十三年四月十五日

四〇四

第二十二驅逐隊司令ハ四月十四日司令驅逐艦ヲ一時文
月ヨリ水無月ニ變更セリ

○郵便物發送先

第五艦隊宛

航空郵便ハ自今

普通郵便物ハ從來通

澎湖郵便局氣付
佐世保郵便局氣付

○正誤

○

四月九日辭令欄海軍主計大尉吉田文平ノ辭令文中「經
費支辨」ハ「經費支拂」ノ誤

○ 艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○四月十五日午前十時訓

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、五十鈴△、▽長門△、春日、▽嚴島
▽雷△、澤風△、▽夏雲、山雲、朝雲
呂六六△

掃二△

富士△、尻矢

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】

夕風、帆風、沖風、▽松風、春風、旗風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△
呂五九△、▽呂五八、▽伊二四、伊二三
▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風△、羽風△

【横濱】高雄

掃一△、掃三△、掃四△

【浦賀】

秋風△

(霞)△

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風

【函館】▽若竹

矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△
淀、加古、最上、天龍、扶桑、龍驤△

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、

敷波、綾波

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△
呂二八、伊五一△、伊七一△、▽伊五三、
伊五四

攝津

(千歳)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

(伊八)△(伊七五)△

常磐△

石廊△

朝風△

平戸、淺間

▽大井

▽伊七二、伊七三、伊五五

鳩、雄

矢風

吾妻△、八重山

▽初雪△、白雪△、吹雪△

伊五二

(霞)△

▽阜月

赤城△、榛名、那智、北上、▽名取、羽黑、
妙高△

海軍公報(部内限)第二千八百八十七號

昭和十三年四月十五日

四〇五

梨、竹、榎、桃、柳、榆、蔓、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、滿潮、朝潮、荒潮、峯風、彌生、如月、水無月、長月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、伊六五、伊六六、伊六七、伊二、敷島、野島、洲崎

(伊七四)

【長崎】

佐多 (利根) (筑摩)

【鎮海】

柿、楡 呂六三、呂六八

【西歸浦】

【作業地】 出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、白鷹、足柄、沖島、球磨、多摩、長良、神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、島海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、蒼龍、八雲、磐手、栗、梅、蓮、響、電、曉、狹霧、漣、葛、薄、藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、菱、蓬、島風

【航海中】

隱戸 (十二日横須賀發—羅府)

早苗 (十三日横須賀發—大湊)

呂三四、呂三三 (十三日吳發—豊後水道)

伊五七、伊五六、伊五八 (十三日吳發—別府)

灘風、沙風、疾風、追風、夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、陸月、卯月、朧、曙、潮、天露、朝露、夕露、白雲、薄雲、叢雲、東雲、文月、伊二、伊三、伊一、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴻、隼、雁、鷺、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、早靱、襟裳、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州、室戸

(辭令公報添)

1905

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千八百八十八號

海軍大臣官房

昭和十三年四月十六日(土)

○令 達

官房第一五五三號ノ二
海軍省主管臨時軍費特別會計歳入科目中左ノ通追加
ス

昭和十三年四月十一日

海軍大臣

款 項 目 節 解 疏

會計科目
電信略號

官房第一五一八號ノ二
雜役船ノ船種及所屬ヲ左ノ通變更ス
昭和十三年四月十三日

海軍大臣

(軍資金)(軍資金)

特別収入

余補船船
便用料

キ一

キ三

公稱番號	標	舊船種	新船種	舊所屬	新所屬	定數別	記 事
第三二六〇號	的船 (發動機附)	內火傳馬船 (九米)	吳海軍工廠	馬公要港部	臨時 附屬	東沙島派遣通信隊 用	

官房機密第二〇八三號

左記ニ依リ海軍砲術學校特修科學生ヲ採用ス
昭和十三年四月十六日

海軍大臣

記

- 一、特修科目 對空射擊術
- 二、採用員數 橫須賀、吳、佐世保鎮守府 各三名
- 三、採用資格 掌砲兵又ハ掌測的兵出身タル兵科特務士官又ハ准士官ニシテ對空射擊術ヲ特修セシムルニ適スル者

海軍公報(部内限) 第二千八百八十八號 昭和十三年四月十六日

四〇七

四、入校時期 昭和十三年六月一日
五、修業期間 約三ヶ月半

○通牒

航本機密第二二〇一號

昭和十三年四月十五日

海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長
海軍航空廠長 殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

四月一日航本機密第二〇〇〇號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

追テ本件ニ要スル經費ハ臨時軍事費、海軍臨時軍事費、造船造兵及修理費、造兵費(空補)支辨トス

供給先 年額

第十四航空隊 一一、〇〇〇圓

(昭和十三年四月八日本欄参照)

○辭令

(各通)

海軍省事務ヲ囑託ス

陸軍少將 岩倉 正雄

陸軍歩兵大佐 清野 孝藏

陸軍獸醫中尉 森 清克

東京音樂學校教授 宮城 道雄

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上
海軍省)

五弓 安二郎

海軍中將 及川 古志郎

同 上田 宗重

海軍主計中將 村上 春一

海軍主計少將 大東 健夫

海軍造船中將 桑原 重治

海軍造船中將 福岡 忠哉

海軍造兵中將 谷村 豊太郎

海軍大佐 妹尾 知之

同 村上 房三

海軍少佐 野田 六郎

同 豊田 限雄

海軍機關大佐 中村 芳郎

(各通)

海軍機關中佐 石松 祐雄
 海軍主計中佐 山沖 芳市
 海軍造船大佐 渡邊 隆吉
 海軍造兵大佐 宮澤 竹藏
 海軍造兵中佐 松木 正幸
 海軍武官任用委員ヲ命ス
 海軍特務大尉 城端 長藏
 駐滿海軍部ニ於ケル事務ヲ囑託ス(以上^{十四日}同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第二十二驅逐隊司令ハ四月十四日司令驅逐艦ヲ一時文
 月ヨリ水無月ニ變更セリ

○司令驅逐艦復歸
 第四十一驅逐隊司令ハ四月十四日司令驅逐艦ヲ朝雲ヨ
 リ夏雲ニ復歸セリ

○特設病院船入院者給與ニ關スル件通牒
 本艦四月十日附特設病院船ノ任務ヲ兼ネシメラレタル
 處入院者ニ對スル給與上ノ取扱ハ曩ニ室戶病院設置當
 時ト同様ニ總ヲ送院元ニテ處理ノコトニ御取計ヲ得度
 追テ詳細ハ左記各鎮守府公報參照相成度

記
 ◎室戶病院入院者給與ニ關スル件通牒
 昭和十二年十一月二十日橫鎮公報 部内限公報
 同 十一月六日 吳鎮公報 掲載記事就
 同 十一月十二日 佐鎮公報 掲載記事就

○殘務整理
 砲艦廬山丸ノ殘務整理ハ吳海兵團内ニ於テ之ヲ行フ

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「ホ」
指定ヲ要セス

○四月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲
山城、五十鈴▲、▽長門▲、春日、▽巖島

▽雷▲、澤風▲

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、沖風、▽松風、春風、旗風、▽夏雲、
山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】高雄

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗

【函館】▽若竹

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲
淀、加古、最上、天龍、扶桑、龍驤▲

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、
敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽伊五三、

伊五四

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(峯雲)▲

【神戸】

伊八▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【因ノ島】

朝風▲

【江田内】

平戸、淺間

【別府】

▽伊五七、伊五六、伊五八

【佐伯】

▽大井

▽伊七二、伊七三、伊五五

【豊後水道】

矢風

【舞鶴】

吾妻▲、八重山

▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲

【小濱】

(蔽)▲

早月

海軍公報(部内限) 第二千八百八十八號

昭和十三年四月十六日

【佐世保】

赤城、榛名、那智、北上、名取、羽黒、妙高

梨、竹、樵、桃、柳、檜、重、夕風、

朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、

滿潮、朝潮、荒潮、峯風、彌生、如月、

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、

呂六三、呂六八、伊六五、伊六六、

伊六七、伊二、敷島、洲崎

(伊七四)

【長崎】

佐多 (利根) (筑摩)

【鎮海】

柿、楡 (作業地) 出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、

白鷹、足柄、沖島、球磨、多摩、

長良、神威、能登呂、勝力、加賀、

駒橋、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、

那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、鳥海、

摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、

阿武隈、蒼龍、八雲、磐手、

栗、梅、蓮、響、電、曉、狹霧、漣、

薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、

夕月、望月、三月、蓼、菱、蓬、島風、

灘風、汐風、疾風、追風、夕立、

五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、有明、

夕暮、江風、山風、海風、涼風、陸月、

卯月、朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、

白雲、薄雲、叢雲、東雲、水無月、長月、

文月 伊二一、伊二二、伊三一、伊六、

伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、

伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、

伊七〇、伊六八、伊六九

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴨、鴻、

隼、雁、鷺 掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八 朝日、早靨、襟裳、知床、鳴戸、鶴見、間宮、

膠州、室戸、野島

【航海中】

隠戸(十二日横須賀發—羅府)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三四、呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

呂三三(十三日吳發—豊後水道)

(辭令公報添)

1910

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千八百八十九號

海軍大臣官房

昭和十三年四月十八日(月)

○ 通 牒

經契第三號ノ五〇五

昭和十三年四月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

艦船用リノリユーム購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通東洋リノリユーム株式會社ト

契約締結致候條左記ニ依リ處理相成度

記

一三雜第五號

契 約 書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ艦船用リノリユーム(以下本品ト稱ス)購買ニ關シ東洋リノリユーム株式會社取締役社長永井繁代理高島屋飯田株式會社取締役社長飯田藤二郎(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第壹條 乙ハ昭和拾參年四月壹日以降昭和十四年參月參拾壹日ニ至ル期間甲又ハ甲ノ指定スル者ノ註文ニヨリ左記價格ヲ以テ本品ヲ供給スルモノトス

品	種	單價(壹米ニ付)
リノリユーム茶色參耗厚	同	八〇四〇
同	四耗厚	壹〇參貳〇
同	綠色參耗厚	九〇壹〇
同	四耗厚	壹壹六貳〇

本單價中ニハ納入地迄ノ持込費ヲ含ム

第貳條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第參條 甲又ハ甲ノ指定スル者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ規格數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書(様式甲)ヲ乙ニ送付ス
第四條 乙ハ前條ノ註文書ヲ受ケタルトキハ購買番

海軍公報(部内限) 第二千八百八十九號

昭和十三年四月十八日

四一三

號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル
 承諾書(様式乙)ヲ註文者ニ提出スルモノトス
 第五條 本品納入地ニ到着シタルトキハ受領應ニ於テ
 必要ト認ムル検査ヲ行ヒ合格ノ上之カ引渡ヲ受クル
 モノトス
 第六條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書
 ヲ附シタル代金請求書ヲ受領應ニ提出スルモノトス
 分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準シ請求書ヲ提出
 スルコトヲ得
 第七條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金請
 求書受理後拾五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモ
 ノトス
 第八條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ラサレハ
 本契約ニ因リテ生スル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓
 渡スルコトヲ得サルモノトス
 第九條 甲ハ必要ト認ムル場合ニハ甲ノ指定スル官吏
 ヲシテ本品ノ原價ヲ調査セシムルコトアルヘシ此ノ
 場合乙ハ官ニ於テ必要ト認ムル資料ヲ提出スルモノ
 トス
 第十條 本契約ニ明揭ノ外ハ海軍契約規程並ニ同施行
 手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書式通ヲ作り各自記名捺印シテ
 各其ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和拾參年四月壹日

海軍省經理局長 村上 春一

兵庫縣川邊郡伊丹町五百五拾八番地

東洋リノリユーム株式會社

取締役社長 永井 繁代理

高島屋飯田株式會社

取締役社長 飯田 藤二郎

(別表様式二頁添)

○ 辭 令

海軍造兵中佐 安本 武之助

技術部第二課勤務ヲ命ス(海軍航空本部)

海軍中尉 鈴木 真人

驅逐艦峯雲審議委員ヲ免ス(海軍艦政本部)

松本 義人

海軍省事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千七百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官
 待遇トス(海軍省)

(各通)

外務省警部補 永松 頓次郎

外務省巡查 今川 國一

關東廳巡查勳八等 佐 土 功

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(兼同) 高山 政吉

願ニ依リ海軍機關學校ニ於ケル劍道教員囑託ヲ解ク

(同) 海軍機關學校

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第十五驅逐隊司令ハ四月十五日司令驅逐艦ヲ葛ヨリ薄ニ變更セリ

第二十六驅逐隊司令ハ四月十三日司令驅逐艦ヲ葦ヨリ榆ニ變更セリ

○郵便物發送先

吳警備戰隊司令部宛
自今

第二十二驅逐隊及驅逐艦水無月宛

四月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ 臺灣基隆
其ノ後ハ 佐 世 保

驅逐艦長月及第二十二驅逐隊主計長宛

四月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ 沖繩縣那覇
其ノ後ハ 佐 世 保

驅逐艦文月宛 從前ノ通

第二十二驅逐隊司令宛ノ書類ニシテ驅逐艦文月、長
月ニモ關係アルモノハ寫ヲ直接同艦宛送付相成度

○試驗(考試)問題發送

一、第三十八期甲種學生入學試驗問題

一、第三十期機關學生入學試驗問題

一、選科學生(帝國大學ニ委託修) 入學考試問題
(學セシムベキ者)

右本月十四日發送済

(海 軍 大 學 校)

○殘務整理

第十三驅逐隊ノ殘務整理ハ左記ニ於テ之ヲ行フ

一、庶務關係 函館泊驅逐艦若竹

一、會計給與關係 吳 泊驅逐艦吳竹

1913

番 號

昭和 年 月 日

註文者

御 中

リノリウム 註文書

様式甲 (美濃紙半葉)

購買番號		納 期	
用 途		納入場所	
品 種	數 量	單 價	代 價
計			
記 事			

(昭和十三年四月十八日公報 (部内限) 別紙)

1914

番 號

様式乙 (美濃紙半葉)

昭和 年 月 日

株 式 會 社

御 申

リノリウム御注文承諾書

但シ納期ハ本表申出通御承認被下度願上候

購買番號		納 期	指定 申出	
注文年月日		納入場所		
品 種	數 量	單 價	代 價	
計				
記 事				

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月十八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、風翔▲、山城、五十鈴▲、▽長門▲、春日、▽木曾雷▲、▽電、響、▽曉、狹霧、漣、澤風▲、呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、沖風、▽松風、春風、旗風、▽夏雲、山雲、朝雲、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、初風▲

【横濱】高雄、▽嚴島

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗

【函館】▽若竹

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、淀、加古、最上、天龍、龍驤▲、▽大井

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊七二、伊七三、伊五五

鳩、雉

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

【大阪】

呂六四▲

【神戸】(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

【因ノ島】朝風▲

【江田内】平戸、淺間

【佐伯】扶桑

【舞鶴】吾妻▲、八重山

▽初雪▲、白雪▲、吹雪、皐月

伊五二

(敷)▲

【佐世保】赤城▲、榛名、那智、北上、▽名取、羽黒、妙高▲

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風、

朝風、**口**若葉、初霜、子日、初春、**口**大潮、
 滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月
呂三〇、**呂**三一、**呂**三二、**呂**六〇、
呂六一、**呂**六二、**呂**六七、**呂**六五、
呂六三、**呂**六八、**口**伊六五、**伊**六六、
伊六七、**伊**二
 敷島、洲崎、襟裳
 (伊七四)▲
 【長崎】佐多
 (利根)▲ (筑摩)▲

【鎮海】**口**葦、**口**柿、**口**楡
 【大連】**口**八雲、**口**磐手
 【作業地】**口**出雲、**口**龍田、**口**安宅、**口**嵯峨、**口**鳥羽、**口**勢多、
口堅田、**口**比良、**口**保津、**口**熱海、**口**二見、**口**白鷹、
口足柄、**口**沖島、**口**球磨、**口**多摩、**口**長良、
口神威、**口**能登呂、**口**勝力、**口**加賀、**口**駒橋、
口陸奥、**口**伊勢、**口**日向、**口**霧島、**口**金剛、**口**那珂、
口鬼怒、**口**由良、**口**川内、**口**迅鯨、**口**鳥海、**口**摩耶、
口熊野、**口**三隈、**口**鈴谷、**口**神通、**口**阿武隈、
口蒼龍

栗、梅、蓮、**口**蕪、**口**葛、**口**藤、**口**芙蓉、**口**朝顔、
 刈萱、**口**菊月、**口**夕月、**口**望月、**口**三日月、**口**蓼、**口**菱、
 蓬、**口**島風、**口**灘風、**口**沙風、**口**疾風、**口**追風、
口夕立、**口**五月雨、**口**村雨、**口**春雨、**口**白露、**口**時雨、
 有明、**口**夕暮、**口**江風、**口**山風、**口**海風、**口**涼風、

【航海中】

隱戸 (十二日横須賀發—羅府へ)
 文月 (十七日西歸浦發—佐世保へ)
 攝津 (十八日吳發—別府へ)

口陸月、**口**卯月、**口**龍、**口**曙、**口**湖、**口**天鏡、**口**朝霧、
 夕霧、**口**白雲、**口**薄雲、**口**叢雲、**口**東雲、**口**水無月、
 長月、**口**峯風
伊二一、**伊**二二、**伊**三一、**伊**三二、**伊**三三、**伊**三四、
伊四五、**伊**四六、**伊**四七、**伊**四八、**伊**四九、
伊五〇、**伊**六一、**伊**六二、**伊**六三、**伊**六四、
伊七〇、**伊**七八、**伊**六九
口千鳥、**口**初雁、**口**友鶴、**口**真鶴、**口**鶺鴒、**口**鴨、**口**鴻、
口隼、**口**雁、**口**鷺
口掃一六、**口**掃一三、**口**掃一四、**口**掃一五、**口**掃一七、
口掃一八
 朝日、早鞆、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州、
 室戸、野島

(別紙二頁添)

1917

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千八百九十號

海軍大臣官房

昭和十三年四月十九日(火)

○令 達

官房第一六〇六號 昭和十三年官房第一二二二號ニテ本号廢止
 當分ノ間海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ横須賀海軍建築部大湊出張所ノ經費ハ大湊要港部主計長ヲシテ掌理セシメ歳入ハ大湊要港部員タル主計科士官ヲシテ收納セシム

昭和十三年四月一日

海軍大臣

官房第二〇四二號

滿洲國海軍學生ヲ左記ニ依リ各海軍學校ニ於テ修業セシム

昭和十三年四月十八日

海軍大臣

一、修業ノ學生、學校及期間

記

○通 牒

滿洲國海軍少尉 何 正卓
 自昭和十三年四月二十日 海軍砲術學校 約五月
 至同 十四年三月三十一日 海軍水雷學校 約二月
 海軍通信學校 約二月
 海軍航海學校 約二月半

二、修業ノ學生、學校及期間

滿洲國海軍輪機少尉 土 福金
 同 龐 琦
 自昭和十三年四月二十日 海軍工機學校
 至同 十四年三月三十一日

官房第二〇七三號

昭和十四年官房第一三〇八三號ニテ本號廢止

支那事變中海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒ノ修業期間ハ三年六箇月トス

昭和十三年四月十九日

海軍大臣

海軍公報(部内限) 第二千八百九十號

昭和十三年四月十九日

四一九

官房第二〇七四號

昭和十三年四月十九日

海軍次官

各廳長殿

功績調査ニ關スル件通牒

昭和十三年四月十一日官房第一八六三號ヲ以テ第一回功績調査期日ヲ昭和十三年四月三十日ト定メラレ候處右ハ各所轄ニ於テ支那事變勃發以來既ニ幹部ノ異動セルモノアリ又來五月ニハ相當多數下士官兵ノ異動アルベク時日ノ經過スルニ從ヒ事後功績調査ハ益困難トナルベキヲ願慮シ期日ヲ區切り調査ヲ令セラレタル次第ニシテ之ヲ以テ直ニ行賞セララルル義ニハ無之五月一日以後ノ功績ヲ調査追加シタル上功績ヲ審査セララルル豫定ニ候條此ノ趣旨ヲ誤解ナカラシムルト共ニ功績調査事務開始ノ爲皇軍ノ士氣ニ惡影響ヲ及ボスガ如キ事ナキ様特ニ注意相成度依命

○ 辭 令

海軍少將 山口 實
第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(附海軍省)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第六驅逐隊司令ハ四月十八日司令驅逐艦ヲ雷ヨリ電ニ變更セリ

○艦船所在

▲印ニハホテ
指定ヲ要セズ

○四月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、
山城、五十鈴▲、▽長門▲、春日、▽木曾
▽電、雷▲、櫻、▽曉、狹霧、漣、澤風▲
呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、▽松風、春風、旗風、▽夏雲、山雲、
朝雲
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲
呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】高雄、▽嚴島

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲、夕風▲
(霞)▲
【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗
大泊

【函館】▽若竹

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、
淀、加古、最上、天龍、龍驤▲、▽大井、白鷹

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、
敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、
伊五六、伊五八、▽伊七二、伊七三、
伊五五

鳩、雉

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

呂六四▲

(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

平戸、淺間

【因ノ島】

【江田内】

【別府】

【舞鶴】

▽初雪▲、八重山

吹雪、皐月

伊五二

(箆)▲

赤城▲、榛名、那智、北上、▽名取、羽黒、
妙高▲

梨▲、竹▲、樅▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風、

伊五二

海軍公報(部内限)第二千八百九十號

昭和十三年四月十九日

四二一

朝風、**□**若葉、初霜、子日、初春、**□**大潮、滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月、文月

呂三〇、**呂**三一、**呂**三二、**呂**六〇、**呂**六一、**呂**六二、**呂**六三、**呂**六四、**呂**六五、**呂**六六、**呂**六七、**呂**六八、**呂**六九、**呂**七〇、**呂**七一、**呂**七二、**呂**七三、**呂**七四、**呂**七五、**呂**七六、**呂**七七、**呂**七八、**呂**七九、**呂**八〇、**呂**八一、**呂**八二、**呂**八三、**呂**八四、**呂**八五、**呂**八六、**呂**八七、**呂**八八、**呂**八九、**呂**九〇、**呂**九一、**呂**九二、**呂**九三、**呂**九四、**呂**九五、**呂**九六、**呂**九七、**呂**九八、**呂**九九、**呂**一〇〇

伊六七、**伊**二、**伊**三、**伊**四、**伊**五、**伊**六、**伊**七、**伊**八、**伊**九、**伊**一〇、**伊**一一、**伊**一二、**伊**一三、**伊**一四、**伊**一五、**伊**一六、**伊**一七、**伊**一八、**伊**一九、**伊**二〇、**伊**二一、**伊**二二、**伊**二三、**伊**二四、**伊**二五、**伊**二六、**伊**二七、**伊**二八、**伊**二九、**伊**三〇、**伊**三一、**伊**三二、**伊**三三、**伊**三四、**伊**三五、**伊**三六、**伊**三七、**伊**三八、**伊**三九、**伊**四〇、**伊**四一、**伊**四二、**伊**四三、**伊**四四、**伊**四五、**伊**四六、**伊**四七、**伊**四八、**伊**四九、**伊**五〇、**伊**五一、**伊**五二、**伊**五三、**伊**五四、**伊**五五、**伊**五六、**伊**五七、**伊**五八、**伊**五九、**伊**六〇、**伊**六一、**伊**六二、**伊**六三、**伊**六四、**伊**六五、**伊**六六、**伊**六七、**伊**六八、**伊**六九、**伊**七〇、**伊**七一、**伊**七二、**伊**七三、**伊**七四、**伊**七五、**伊**七六、**伊**七七、**伊**七八、**伊**七九、**伊**八〇、**伊**八一、**伊**八二、**伊**八三、**伊**八四、**伊**八五、**伊**八六、**伊**八七、**伊**八八、**伊**八九、**伊**九〇、**伊**九一、**伊**九二、**伊**九三、**伊**九四、**伊**九五、**伊**九六、**伊**九七、**伊**九八、**伊**九九、**伊**一〇〇

敷島、**洲**崎、**襟**裳

(**伊**七四)

【長崎】

佐多、(利根)、(筑摩)

【鎮海】

【大連】

【羅府】

【作業地】

早鞆

龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、足柄、沖島、球磨、多摩、長良、神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、島海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、着龍

栗、梅、蓮、蕪、藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、菱、蓬、島風、濼風、沙風、疾風、追風、夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨

有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、陸月、卯月、朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、水無月、長月、峯風、沖風

伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴻、隼、雁、鷺

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州、室戸、野島

【航海中】

隠戸(十二日横須賀發—羅府)

扶桑(十八日佐伯發—吳)

(辭令公報添)

1921

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千八百九十一號

昭和十三年四月二十日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二一六〇號

海軍省所管臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十三年四月二十日

海軍大臣

款	項	目	節	會計科目 電信略號
(臨時軍事費) (海軍臨時 軍事費)	演習費			ウ一
	支那事變戰史 編纂費			ノ一

官房機密第二一六一號
臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス
昭和十三年四月二十日

海軍大臣

海軍分限(部内限) 第二千八百九十二號

昭和十三年四月二十日

四二三

第一條第一號「特設艦船部隊」ヲ「特設艦船部隊(第一聯合航空隊ヲ除ク)」ニ改メ第二號中「木更津海軍航空隊、鹿屋海軍航空隊、」ヲ削ル

第二條第一號(一)、第三號(一)、第六號(一)及第八號(二)中「特設艦船部隊、木更津海軍航空隊本隊及鹿屋海軍航空隊本隊」ヲ「特設艦船部隊(第一聯合航空隊ヲ除ク)」ニ改ム

同條中左ノ如ク加フ

一九 演習費

特命ニ依ル分

二〇 支那事變戰史編纂費

特ニ要スル分

官房機密第二一六二號

支那事變中特設艦船部隊ニ對スル兵器ノ供給及貸與ニ關スル所管海軍軍需部ヲ特ニ定ムルモノノ外左記ノ通定ム

<p>昭和十三年四月二十日</p> <p>海軍大臣</p> <p>記</p>		<p>供給又ハ貸與ヲ受クベキ各廳</p> <p>所管海軍軍需部</p>	<p>特設艦船部隊</p> <p>所管鎮守府ノ海軍軍需部</p>	<p>特設聯合特別陸戰隊司令部</p> <p>所屬艦隊司令部ノ所管海軍軍需部</p>	<p>特設根據地隊司令部</p> <p>軍需部</p>	<p>特設聯合航空隊司令部</p> <p>軍需部</p>
<p>○通牒</p> <p>軍務二機密第三三七號</p> <p>昭和十三年四月二十日</p> <p>海軍省軍務局長</p> <p>水路部長殿</p> <p>新淺堆、島嶼等ノ水路圖誌上ノ取扱ニ關スル件申進</p> <p>新ニ發見セラレタル淺灘堆ノ名稱其ノ他水路圖誌上ニ記載スル島嶼等ノ新名稱(公認又ハ地方的方言名等ナ</p>						
<p>キ場合)ハ總テ海軍大臣ノ認許ヲ受クルヲ要スル義了知相成度</p> <p>○辭令</p> <p>(各通)</p> <p>海軍豫備大尉 安藤 久吉</p> <p>海軍豫備中尉 吉田 熊雄</p> <p>海軍豫備機關中尉 山本 章一</p> <p>右充員召集ヲ解除ス(海軍省)</p>						
<p>○雜款</p> <p>○將旗撤去</p> <p>第四水雷戰隊司令官ハ四月十九日將旗ヲ木曾ヨリ撤去セリ</p> <p>○司令驅逐艦復歸</p> <p>第二十六驅逐艦司令ハ四月十六日司令驅逐艦ヲ楡ヨリ革ニ復歸セリ</p> <p>○郵便物發送先</p> <p>第十四航空隊宛</p> <p>自今</p> <p>鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町</p> <p>鹿屋郵便局氣付</p> <p>「速達料金三十錢」</p>						

1923

○ 艦船所在

▲印ハコハホレノ
指定ヲ要セズ

○四月二十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴▲、▽長門▲、春日、木曾、▽嚴島

▽電、雷▲、響、▽曉、狹霧、漣、澤風▲

呂六六

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、▽松風、春風、旗風、▽夏雲、山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】高雄

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【函館】▽若竹

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、淀、加古、最上、天龍、龍驤▲、▽大井、白鷹、扶桑

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊七二、伊七三、伊五五

鳩、雉

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

【天 阪】

呂六四▲

【神 戸】

(伊八)▲(伊七五)▲

【相 生】

常磐▲

石廊▲

【因ノ島】

朝風▲

【江田内】

平戸、淺間

【舞 鶴】

吾妻▲、八重山

▽初雪▲、白雪▲、吹雪、皐月

伊五二

(敷)▲

【佐世保】

赤城▲、榛名、那智、北上、▽名取、羽黒、妙高▲

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、蓮▲、▽夕風

海軍公報(部内限)第三千八百九十一號

昭和十三年四月二十日

四二五

朝風、**▽**若葉、初霜、子日、初春、**▽**大潮、滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月、文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六二▲、**▽**呂六七、呂六五、**▽**呂六三、呂六八、**▽**伊六五、伊六六、伊六七、伊二

敷島▲、洲崎、襟裳

(伊七四)▲

佐多

(利根)▲、(筑摩)▲

【長崎】

【大連】**▽**八雲、磐手

【羅府】早朝

【作業地】**▽**出雲、**▽**龍田、**▽**安宅、**▽**嵯峨、**▽**鳥羽、**▽**勢多、**▽**堅田、**▽**比良、**▽**保津、**▽**熱海、**▽**二見、**▽**足柄、**▽**沖島、**▽**球磨、**▽**多摩、**▽**長良、**▽**神威、**▽**能登呂、**▽**勝力、**▽**加賀、**▽**駒橋、**▽**陸奥、**▽**伊勢、**▽**日向、**▽**霧島、**▽**金剛、**▽**那珂、**▽**鬼怒、**▽**由良、**▽**川内、**▽**迅鯨、**▽**鳥海、**▽**摩耶、**▽**熊野、**▽**三隈、**▽**鈴谷、**▽**神通、**▽**阿武隈、**▽**蒼龍

栗、**▽**梅、**▽**蓮、**▽**薄、**▽**蔦、**▽**芙蓉、**▽**朝顔、**▽**刈萱、**▽**菊月、**▽**夕月、**▽**望月、**▽**三月月、**▽**蓼、**▽**菱、**▽**島風、**▽**灘風、**▽**沙風、**▽**疾風、**▽**追風、**▽**夕立、**▽**五月雨、**▽**村雨、**▽**春雨、**▽**白露、**▽**時雨、**▽**有明、**▽**夕暮、**▽**江風、**▽**山風、**▽**海風、**▽**涼風、

【航海中】

隠戸(十二日横須賀發—羅府—)

▽神風、**▽**沼風、**▽**波風、**▽**野風、**▽**早苗、**▽**大泊 (十九日大湊發—津輕海峽—)

▽榆、**▽**葦、**▽**柿 (十九日鎮海發—群山—)

▽陸月、**▽**卯月、**▽**龍、**▽**曙、**▽**潮、**▽**天霧、**▽**朝霧、**▽**夕霧、**▽**白雲、**▽**薄雲、**▽**霧雲、**▽**東雲、**▽**水無月、**▽**長月、**▽**峯風、**▽**沖風

▽伊二一、**▽**伊二二、**▽**伊三一、**▽**伊三三、**▽**伊四、**▽**伊五、**▽**伊七、**▽**伊六三、**▽**伊五九、**▽**伊六〇、**▽**伊六一、**▽**伊六二、**▽**伊六四、**▽**伊七〇、**▽**伊六八、**▽**伊六九

▽千鳥、**▽**初雁、**▽**友鶴、**▽**真鶴、**▽**鶺鴒、**▽**鴨、**▽**鴻、**▽**隼、**▽**雁、**▽**鷺

▽掃一六、**▽**掃一三、**▽**掃一四、**▽**掃一五、**▽**掃一七、**▽**掃一八

朝日、**▽**知床、**▽**鳴戸、**▽**鶴見、**▽**間宮、**▽**膠州、**▽**室戸、**▽**野島

(辭令公報添)

(限 内 部)

1925

海軍公報 (部内限) 第二千八百九十二號

昭和十三年四月二十一日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房第二二〇八號

昭和十二年官房第四四九〇號別表中左ノ通改正ス

昭和十三年四月二十一日

海軍大臣

カルピス類ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

氷

氷	罐詰牛乳
	ココア 白砂糖 ココア 糖 ビター

ノ項中(一)及(二)ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

海軍公報 (部内限) 第二千八百九十二號 昭和十三年四月二十一日

四三七

罐詰牛乳	日額 三〇五	ノ内二種	日額 三〇五
白(コ)ア又ハ 砂糖糖	日額 一〇五	以內 但シ米ノ ミ給與ノ 場合ハ日 額	日額 一〇五
カルピス類	日額 二〇五	ノ内二種	日額 二〇五
氷	日額 二五〇瓦	ノ内二種	日額 二五〇瓦
	〇、〇六立	以內但シ 米ノミ給 與ノ場合 ハ日額	〇、〇六立
	五〇〇瓦		五〇〇瓦

清涼飲料ノ項記事ノ欄第一項中「等トス」ヲ「エピア
ン等礦泉類トス」ニ改ム

(参照) 昭和十二年官房第四四九〇號ハ戦時給與規則ノ適用ヲ
受クル艦船部隊ニ糧食ヲ増給シ得ル件ナリ(昭和十二
年八月三十日本欄参照)

○通牒

官房第二一〇〇號

昭和十三年四月二十一日

海軍省 副官

支那方面艦隊 參謀長殿
第四、第五艦隊

參謀長會議ニ關スル件申進

來五月二十三日ヨリ開催ノ參謀長會議ニハ支那方面艦

隊、第四艦隊及第五艦隊ノ各參謀長ハ事變中ニ付上京
セザルコトニ定メラレ候

軍務一機密第一三七號

昭和十三年四月二十一日

海軍省 軍務局長
海軍艦政 本部長

各鎮、舞臺參謀長 殿
各海軍工廠長

支那事變關係艦船搭載物件處理ニ關スル
件通知

今次事變ノ爲各艦隊艦船及警備艦船ニ搭載又ハ増載セ
ル物件ハ特ニ殘置ヲ令セラルルモノノ外ハ左記ニ依リ
任務終了後又ハ役務變更後成ルベク速ニ撤去還納スル
モノト了知相成度爲念

記

一、兵器

昭和十二年官房機密第四八五三號訓令ニ依ルモノヲ
還納復舊ス

二、防錆鋼板

一月二十五日艦本機密第一四六四號ニ依リ處理ス

三、防寒施設

昭和十二年官房機密第四六〇五號訓令ニ依リ處理ス

四、江水濾過装置

陸揚シ要スレバ手入ノ上工廠ニ於テ保管スルモノト
シ其ノ艦名及數量ヲ海軍艦政本部長ニ通知スルモノ
トス

五、其ノ他

前各號ニ準ズ

軍務二機密第三四八號

昭和十三年四月二十一日

内令提
要登載

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

海軍艦船、航空機及海軍通信隊ト南洋廳

海軍公報(部内限) 第二千八百九十二號

昭和十三年四月二十一日

四二九

無線局トノ無線交信法ニ關スル件申進

南洋廳無線局ト直接連絡ヲ要スル海軍通信隊及南洋方
面ヲ行動スル海軍艦船、航空機ト南洋廳無線局(無線
通信施設ヲ有スル氣象觀測所ヲ含ム)トノ無線通信ニ
ハ海軍無線交信規程及同附録ヲ使用スルコトニ定メラ
レ候條了知相成度

軍務二機密第三四九號

昭和十三年四月二十一日

内令提
要登載

海軍省軍務局長

廢止

關係各廳長殿

海軍通信隊ト南洋廳無線局トノ通信連絡
ニ關スル件申進

東京及横須賀海軍通信隊ト南洋廳「パラオ」及「サイ
パン」無線局トノ通信連絡ハ左記ニ依ルコトニ定メラ
レ候條了知相成度
追テ本件ハ昭和十三年六月一日ヨリ實施セシメラレ
候

記

海軍通信隊	通信時間 (中央標準時)	對手局	通信電波 k.c.	交信法	通信事項
東京	正子、午前六時 正午、午後六時 ヨリ各一時間	バラオ サイパン	(一三、三三〇) (六、六六五) (一三、四一〇) (六、七〇五)	海軍無線交信規程及同附録第一、第二ニ依ル	海軍又ハ南洋廳ニ着發スル軍用電報、氣象電報及海軍官憲ノ承認ヲ得タル電報
横須賀					

備考

- 一、括弧内ノ電波ハ夜間用ニシテ晝夜間用電波變換ハ午前六時及午後六時トス
- 二、通信時間中ト雖モ相互間ニ電報ナキ場合ハ連絡ヲ止ムルコトヲ得又通信幅狭スル場合ハ通信時間ヲ延長スルコトヲ得
- 三、本電報料金ハ無料トス

○ 雜 款

- 旗艦變更
練習艦隊司令官ハ四月二十日旗艦ヲ八雲ヨリ磐手ニ變更セリ
- 將旗撤去

横須賀警備戰隊司令官ハ四月二十日將旗ヲ撤去セリ
吳警備戰隊司令官ハ四月二十日將旗ヲ撤去セリ

- 郵便物發送先
第二十六驅逐隊(葦、楡、柿)宛
四月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 仁 川
同 二十九日迄ニ 同 鎮 南 浦
其ノ後ハ 鎮 海

- 郵便物發送先變更(四月七日本欄参照)
驅逐艦彌生、如月、第三十驅逐隊軍醫長、同主計長 宛
四月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保
其ノ後ハ 第二航空戰隊司令部ニ同ジ

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月二十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、大鯨、夕張、鳳翔、山城、五十鈴、長門、木曾、嚴島、電、響、曉、狹霧、漣、澤風、呂六六、掃二、富士、尻矢

(飛龍)(劍埼)(高崎)

【長浦】

帆風、松風、春風、旗風、夏雲、山雲、朝雲、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂五八、伊二四、伊二三、掃六、掃五

【石川島】

大刀風、羽風、高雄

【浦賀】

掃一、掃三、掃四、秋風、夕風、霞

【函館】

若竹、矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、長鯨、淀、加古、最上、白鷹、扶桑、夕顔、吳竹、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

【大阪】

古鷹、峯雲、千歲、千代田、攝津、鳩、雉、呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊七一、伊五三、伊五四、伊七二、伊七三、伊五五

【神戸】

伊八、伊七五、常磐、石廊

【相生】

朝風

【因ノ島】

平戸、淺間

【江田内】

吾妻、八重山

【舞鶴】

初雪、白雪、吹雪、皐月、伊五二、伊五二

【佐世保】

赤城、榛名、那智、北上、名取、羽黒、妙高、梨、竹、樞、桃、柳、檜、萱、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月、文月、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六七、呂六五

海軍公報(部内限) 第二千八百九十二號

昭和十三年四月二十一日

四三一

伊六五、伊六六、伊六七、伊二

敷島、洲崎、襟裳

(伊七四)

【長崎】佐多

(利根) (筑摩)

【群山】檜、葦、柿

【旅順】磐手、八雲

【羅府】早鞆

【作業地】出雲、龍田、天龍、安宅、蟬峨、鳥羽

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見

口足柄、沖島、球磨、口多摩、長良

神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋

口陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂

鬼怒、由良、川内、迅鯨、鳥海、摩耶

口熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈

口蒼龍

栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔

刈萱、口菊月、夕月、望月、三月月、口蓼、菱

蓬、口島風、灘風、沙風、口疾風、追風

口夕立、五月雨、村雨、春雨、口白露、時雨

有明、夕暮、口江風、山風、海風、涼風

口陸月、卯月、口龍、曙、潮、口天鏡、朝霧

夕霧、口白雲、薄雲、叢雲、東雲、口水無月

長月、峯風、沖風

伊二、伊三、伊一、伊三、伊六

伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九

伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四

伊七〇、伊六八、伊六九

口千鳥、初雁、友鶴、真鶴、口鶴、鴨、鴻

華、口雁、鷺

口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七

掃一八

朝日、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州、室戸、野島

【航海中】

隠戸(十二日横須賀發—羅府へ)

口神風、沼風、波風、野風、早苗、大泊(十九日大

湊發—津輕海峽へ)

龍驤(二十日吳發—佐世保へ)

春日(二十日横須賀發—鹿兒島灘へ)

大井(二十日吳發—大阪へ)

口呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、伊五八

(二十日吳發—博多灣へ)

口呂六三、呂六八(二十日佐世保發—港外へ)

1931

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千八百九十三號

海軍大臣官房

昭和十三年四月二十二日(金)

○令 達

官房第二二二五號

左記ニ依リ海軍練習航空隊特修科學生ヲ採用ス

昭和十三年四月二十二日

海軍大臣

記

特修科目

航空術

(主トシテ航空發動機整備術)

修學場所

横須賀海軍航空隊

採用員數

在籍鎮守府員數

採用資格

横須賀

六

採用時期

昭和十三年八月一日

整備兵曹長ニシテ高等科整備術練習生教程(機體)ヲ修業シタル者

修業期間 約五ヶ月

官房第二二二四號

左記ニ依リ海軍砲術學校ニ於テ海軍武道大會ヲ施行ス

左記第三、第四號ノ人員ヲ派遣スベシ

追テ所屬長官ハ派遣員ノ所轄、官氏名及選士ノ技倆

ヲ五月十日迄ニ報告スルト共ニ海軍砲術學校長ニ通報スベシ

昭和十三年四月二十二日

海軍大臣

記

一、目的

武道ヲ獎勵振作シ士氣ヲ振興スルニ在リ

二、期 日

昭和十三年六月一日

三、委 員

海軍砲術學校長ヲ委員長トシ委員、同附派出區分

左ノ通定ム

海軍公報(部内限) 第二千八百九十三號

昭和十三年四月二十二日

四三三

派遣元		一般委員	審判委員 及委員附	記	事
横須賀鎮守府	四	(一四三)	(イ) 委員及委員附ハ鎮守府司令長官、海軍兵學校長、海軍機關學校長ノ定ムル所ニ依ル		
吳 鎮守府	一	(三)	(ハ) 内員數ハ武道教師ヲ以テ之ニ充ツルモノトス		
佐世保鎮守府	一	(三)	(ニ) 吳佐世保ヨリ派遣スベキ一般委員ハ選士ヲ兼スルモノトス		
兵 學 校		(三)	委員長ハ上記ノ外所要ノ委員委員附ヲ横須賀鎮守府司令長官ニ請求スルコトヲ得		
機關學校		(二)	(ホ) 武道教師タル審判委員又ハ委員附ニ對シテハ情況ニ依リ仕合ヲ爲サシム		
(一) 部内選士派遣員數左ノ通定ム					
第一艦隊	士官	二	道	柔	記 事
	特 准	一	下士官兵	士官	
第二艦隊	士官	二	道	銃	(イ) 括弧内ハ官房第一六九九號ニ依ル銃劍術臨時講習員ヲ示ス
	特 准	一	下士官兵	准士官以上	
横須賀鎮守府	士官	二	道	銃	(ロ) 吳鎮守府(舞鶴要港部)
	特 准	二	下士官兵	准士官以上	
吳 鎮守府	士官	一	道	銃	
	特 准	二	下士官兵	准士官以上	

佐世保鎮守府	一	二	五	一	二	五	三	三	(三)	(横須賀鎮守府) 派出員數 中ニハ兵學校(機關學校) (經理學校)ノ 員數ヲ含ムモ ノトス
舞鶴要港部			二					一	(一)	
大湊要港部			一					一	(一)	
鎮海要港部			一					一	(一)	

(二) 委員長ノ定ムル所ニ依リ適宜部外選士ヲ加フルコトヲ得

五、實施要領

委員長ノ定ムル所ニ依ル
五月二十五日迄ニ實施要領ヲ定メ其ノ十五通ヲ提出スルト共ニ關係各部ニ送付スルモノトス

六、經費

(一) 横須賀以外ノ地ヨリ派遣ノ委員、委員附及選士ニ對スル旅費ハ大會前日横須賀着大會終了當日横須賀出發トシ昭和五年官房第二三八七號別表第三ニ依リ之ヲ支給シ請求ヲ俟テ別途配付ス
(二) 右以外ノ所要經費ハ砲術學校長ニ別途配付ス

○ 辭令

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス
拜村 正夫
中村 文治

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額百八拾圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス
勳七等 原川 信雄
正八位勳八等 徳田 住男
紅林 石男
星 忠 男
國分 俊介

(各通)

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額百五拾圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス

海軍公報(部内限) 第二千八百九十三號 昭和十三年四月二十二日

(各通)

勳八等 西川 部

今井 千之

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額百參拾圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス(以上請海軍省)

○ 雜 款

○ 殘務整理

橫須賀警備戰隊ノ殘務整理ハ橫須賀鎮守府内ニ於テ之ヲ行フ

殘務整理主任 海軍中佐 大西 茂 昭

第四水雷戰隊司令部ノ殘務整理ハ橫須賀鎮守府 海軍中佐今里博(軍艦木曾氣付)之ヲ處理ス

○ 輸送請求書類ニ關スル件照會

今次事變ニ關聯シ激増セル軍需品其ノ他ノ輸送業務ヲ圓滑ニ進捗セシムル爲爾今當地揚又ハ當地經由ノ物件ニ關スル輸送請求票ハ海上運輸規程第七條ニ定メラレタル通數以外更ニ一通特ニ調製送付ノコトニ御取計ヲ得度右請求票ハ左記ノ通處理スルモノニ有之候
尙海上運輸規程第七條第二項ニ規定セラレタル通必ズ請求票ハ輸送先地受領者毎ニ各別ニ調製ノコトニ致

記

一通(從來通ノモノ) 當港務部保管
一通(今後特ニ増調セラルベキモノ) 物件受領者渡
(佐世保海軍港務部)

○ 試驗問題發送

第三十六期高等科經理術練習生、第一期高等科衣糧術練習生、第六十三期普通科經理術練習生及第三十五期普通科衣糧術練習生採用試驗問題四月十六日發送濟

一、試驗施行期日

第三十六期高等科經理術 昭和十三年六月十三日(月)

第一期高等科衣糧術 昭和十三年六月十四日(火)

第二、試驗問題發送先

聯合試驗參加各部ノ分ハ各海軍人事部長及各要港部參謀長宛、單獨試驗ノ分ハ直接各部ノ長宛送付ス

三、行動豫定變更其ノ他ノ爲單獨試驗ヲ施行スル場合ハ最寄海軍人事部(要港部)ニ請求相成度
(海軍經理學校)

○艦船所在

▲印ハハカ
指定ヲ要セズ

○四月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴▲、長門▲、木曾、▽巖島

▽電、雷▲、響▲、▽曉、狹霧、漣、澤風▲

呂六六

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、▽松風、春風、旗風、▽夏雲、山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

▽掃六、掃五

【石川島】

▽太刀風▲、羽風▲

高雄

掃一▲、掃三▲、掃四▲

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲、夕風▲

【大湊】

▽神風、沼風、波風、野風、早苗、大泊

【函館】

▽若竹

【吳】

淀、最上、白鷹、扶桑、夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、

敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽伊五三、

伊五四、▽伊七二、伊七三、伊五五

鳩、雉

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

古鷹▲、大井

(峯雲)▲

【大阪】

呂六四▲

(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

【相生】

朝風▲

平戸、淺間

【因ノ島】

加古

【新湊】

吾妻▲、八重山

▽初雪▲、白雪▲、吹雪、皐月

伊五二

(箴)▲

【佐世保】

赤城▲、榛名、那智、北上、名取、羽黒、妙高▲、龍驤

梨▲、竹▲、雁▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▽夕風、

朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、

滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月、文月

呂三〇△ 呂三一△ 呂三二△ 呂六〇△
 呂六一△ 呂六二△ 呂六六△ 呂六五△
 呂六三△ 呂六八△ 伊六五△ 伊六六△ 伊
 六七△ 伊二
 敷島△ 洲崎△ 室戸
 (伊七四)△

【博多】呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、伊五八

【長崎】佐多

(利根)△ (筑摩)△

【群山】華、楡、柿

【旅順】磐手、八雲

【羅府】早鞆

【作業地】出雲、龍田、天龍、安宅、嵯峨、鳥羽、
 勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、

足柄、沖島、球磨、多摩、長良、

神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、

陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、

鬼怒、由良、川内、迅鯨、鳥海、摩耶、

熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、

蒼龍

栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、

刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、菱、

蓬、島風、灘風、沙風、疾風、追風、

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、

有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、

陸月、卯月、龍、曙、潮、天霧、朝霧、
 夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、水無月、
 長月、峯風、沖風
 伊二一、伊二二、伊三一、伊三二、伊三三、
 伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、
 伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、
 伊七〇、伊六八、伊六九
 千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴨、鴻、
 隼、雁、鷺
 掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八

朝日、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州
 野島

【航海中】

隱戸(十二日横須賀發—羅府へ)

春日(二十日横須賀發—鹿兒島灘へ)

襟裳(二十一日佐世保發—吳へ)

1937

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千八百九十四號

海軍大臣官房

昭和十三年四月二十三日(土)

○令 達

官房機密第二二〇九號

特務艦室戸特設病院船ノ任務ヲ兼ヌル間同艦治療品取扱主任ハ海軍兵備品會計規程別表ノ規定ニ拘ラズ乘組藥劑科士官ヲ以テ之ニ充ツ

昭和十三年四月二十三日

海軍大臣

○雜 款

○郵便物發送先
特務艦攝津宛

自 今

聯合艦隊司令部ニ同ジ

○殘務整理
吳警備戰隊司令部殘務整理ハ吳海兵團内ニ於テ之ヲ行フ
○基地移動

第十四航空隊ハ四月十八日基地ヲ笠ノ原(鹿屋町)ニ移動セリ

○試験問題發送

第十三期高等科信號術練習生採用試験問題四月二十日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ御通知相成度

記

一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ

二、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長及各要港部副官宛送付

聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更等ノ爲單獨施行ヲ要スルニ至リタル場合ノ所要ノ分トシテ若干部數前記各官宛送付シアリ

(海軍 航海學校)

第五十八期高等科機關術練習生採用試験問題
第四十九期高等科電機機關術練習生採用試験問題
右四月二十一日左記ノ通發送濟、未着ノ向又ハ別ニ必
ノ向ハ至急御通知相成度

記

海軍公報 (部内限) 第二千八百九十四號

昭和十三年四月二十三日

四三九

1938

海軍公報（部内限）第二千八百九十四號 昭和十三年四月二十三日

四四〇

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
一、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部首席部員及各要
港部副官宛送付

但シ旅順要港部所屬艦船ニハ直送

一、聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲
聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記諸官宛
單獨試験問題若干部送付シ置ケリ

（海軍工機學校）

○懲罰特免

懲罰特免告送書

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月二十三日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、大鯨、夕張、鳳翔、山城、五十鈴、長門、木曾、嚴島、春日、電、響、曉、狹霧、漣、澤風

呂六六

掃二

富士、尻矢

(飛龍)(劍崎)(高崎)

【長浦】

帆風、松風、春風、旗風、夏雲、山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂五八、伊二四、伊二三

掃六、掃五

石川島、太刀風、羽風

高雄

掃一、掃三、掃四

浦賀、秋風、夕風

(霞)

大湊、神風、沼風、波風、野風、早苗、大泊

函館、若竹

吳

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、長鯨、淀、最上、白鷹、扶桑

夕顔、吳竹、菊、葵、萩、浦波、磯波

敷波、綾波、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊七一、伊五三、伊五四、伊七二、伊七三

鳩、雄

攝津

(千歳)(千代田)

古鷹、大井

(翠雲)

神戶

(伊八)(伊七五)

相生

常磐

石廊

因ノ島

朝風

江田内

平戸、淺間

新湊

吾妻、八重山

伊五二

舞鶴

(綾)

赤城、榛名、那智、北上、名取、羽黒、妙高、龍驤

梨、竹、樞、桃、柳、檜、重、夕風

朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮

滿潮、朝潮、荒潮、彌生、如月、文月

海軍公報(部内限)第二千八百九十四號 昭和十三年四月二十三日

四四一

【長崎】

佐多

(利根) (筑摩)

【旅順】

磐手、八雲

【羅府】

早鞆

【作業地】

口出雲、口龍田、天龍、口安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、口足柄、沖島、口球磨、口多摩、口長良、神威、口能登呂、勝力、口加賀、駒橋、口陸奥、伊勢、日向、口霧島、金剛、口那珂、鬼怒、由良、口川内、口迅鯨、口鳥海、摩耶、口熊野、三隈、鈴谷、口神通、口阿武隈、口蒼龍

栗、梅、蓮、口薄、葛、藤、口芙蓉、朝顔、刈萱、口菊月、夕月、望月、三日月、口蓼、菱、蓬、口島風、灘風、沙風、口疾風、追風、口夕立、五月雨、村雨、春雨、口白露、時雨、有明、夕暮、口江風、山風、海風、涼風、口陸月、卯月、口臘、曙、潮、口天霧、朝霧、夕霧、口白雲、薄雲、叢雲、東雲、口水無月、

【航海中】

長月、峯風、沖風

口伊二一、伊二三、口伊一、伊三、口伊六、伊四、伊五、伊七、口伊六三、伊五九、伊六〇、口伊六一、伊六二、伊六四、口伊七〇、伊六八、伊六九

口千鳥、初雁、友鶴、真鶴、口鶴、鴨、鴻、隼、口雁、鷺

口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、知床、鳴戸、鶴見、間宮、膠州野島

隱戸(二十日横須賀發—羅府へ)

襟裳(二十一日佐世保發—吳へ)

口葦、榆、柿(二十二日群山發—仁川へ)

口呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、伊五八(二十一日博多發—吳へ)

伊五五(二十二日吳發—廣島灣へ)

(辭令公報添)